



今回の治療についてお知らせください

- 絶対に受診できない日
- ない / . / . /
- 服用中の薬やサプリメントなど
- プロバイオティクス □ ラクトフェリン
- VD □ バファリン □ 柴苓湯 □ 他
- 希望するアドオンなど
- 採卵時の静脈麻酔
- タイムラプス培養 (□ USBメモリ)
- 膜構造による精子選別術 □ 全胚凍結
- PGT □ プログラフ □ 2胚移植

※ 今回の治療計画時に43歳未満であれば保険適用です (前回保険適用で全胚凍結した後の初回の凍結胚移植を除きます)

※ 保険適用の周期では先進医療を除く保険適用外の検査や治療 (PRP療法、PGT、タクロリムス療法など) を併用できません

FSH

- 月経7日目頃からFSH [] 単位を7日間自己注射します
- プセレリンを1日2回に減量します
- 8回目以降は数日ごとに超音波検査を行い卵胞径が約18mmになるまでFSHを継続します

2 FSHで卵胞を育てる

★ 自己注射の手技を動画で確認できます



ゴナールエフ



レコベル



フォリスチム

3 hCGで卵を成熟させる

- オビドレルを21:00 (時間厳守) に自己注射します
- OHSS回避のため全胚凍結する場合はカベルゴリンを夜から8日間内服します

hCG

4 採卵・採精

5 胚移植

- 食事を普通にとり、ナプキン、生理用ショーツを持参ください
- 【手順】 胚培養士の説明→着替え→胚移植→希望者は病室で静養
- ※ 胚移植後に月経様の出血があっても着床していることがあるので薬を使い続けて予定どおりに来院してください

6 着床確認

- 朝食を軽くとり、ナプキン、生理用ショーツを持参し、8:00に入院入口のインターホンで来院を伝えて2階ナースステーションにお越しください
- 【手順】 着替え→鎮痛坐剤を挿入→採血と点滴→採卵→病室で静養→昼頃に胚培養士が説明
- 夜からプロゲステンを使います
- ワンクリノン(1日1回) を腔内に挿入
- カテーテルが入りづらい方は頸管拡張します

7 妊娠判定

- 採血して妊娠を判定します
- GnRHアゴニストとプロゲステンを終了します

プロゲステン

- 朝食を軽くとり、ナプキン、生理用ショーツを持参し、8:00に入院入口のインターホンで来院を伝えて2階ナースステーションにお越しください
- 【手順】 着替え→鎮痛坐剤を挿入→採血と点滴→採卵→病室で静養→昼頃に胚培養士が説明
- 夜からプロゲステンを使います
- ワンクリノン(1日1回) を腔内に挿入
- カテーテルが入りづらい方は頸管拡張します

※ 採血して着床を確認します

※ 妊娠しなかった場合は、GnRHアゴニストの影響で排卵が遅れるため、次回の月経は通常より1~2週間遅れて始まります

ロング法 [保険 / 自費]

